



平成 21 年 8 月 31 日

各 位

会 社 名 ナブテスコ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 松本 和幸
(コード番号 6268東証第1部)
問 合 せ 先 総務部長 吉川 敏夫
(T E L 03-3578-7070)

自動車関連機器事業の構造改革について

当社は、急激な需要の縮小により、厳しい経営環境下にある自動車関連機器事業（“自動車カンパニー”）の早期収益性の回復と将来の競争力を確保すべく、事業構造の改革を検討してまいりました。

平成 21 年 8 月 31 日開催の取締役会において、その一環として自動車カンパニーの分社化と、同カンパニーのアルミ鋳物事業からの撤退を柱とする構造改革を実行することを決議しましたので、下記の通りお知らせします。

記

1. 構造改革の背景

自動車業界は、世界的な需要減速に陥っていますが、自動車カンパニーの主要顧客である商用車業界も昨秋以降、需要が大幅に落ち込み、その回復は当面限定的なものに留まり、又、相当の期間を要することが予想されております。

このように売上高の回復が当面限定的なものに留まる環境下においても、収益を安定的に確保するために抜本的な構造改革を取り進めることと致しました。

2. 構造改革の概要

1) 自動車カンパニーの分社化

(1) 売上高が減少し、グローバル市場で競争が今後一層厳しくなる中、人員数の適正化、経費削減による競争力確保を着実に達成するために、自動車カンパニーを分社し、事業構造の再構築を推進します。

(2) 分社化は、当社全額出資による新会社を平成 21 年 12 月 1 日に設立し、自動車関連機器事業を平成 22 年 3 月 1 日に新会社に譲渡することで取り進めます。

2) アルミ鋳物事業からの撤退

アルミ鋳物事業については、厳しい事業環境の下、収益性改善に向けた幾多の努力を重ねてまいりましたが、受注量減少と価格の下落が続き、事業として継続していくことは困難であると判断し、撤退することといたしました。

3. 当社業績への影響

本構造改革による当社の平成 22 年 3 月期連結業績への影響については、今後構造改革の詳細が固まり、影響が判明した時点で、お知らせ致します。

4. その他

構造改革の内容、及び、新会社の概要につきましても、今後、確定次第速やかにお知らせいたします。

※当社自動車カンパニーは商用車用エアブレーキ機器を中心とした自動車関連機器を製造・販売しています。主な事業所は山形工場(山形県村山市)、関連子会社として Nabtesco Automotive Products (Thailand) Co., Ltd.(タイ国)があります。

以 上